

令和3年度  
事業報告書

ともに生きる  
豊かな地域社会

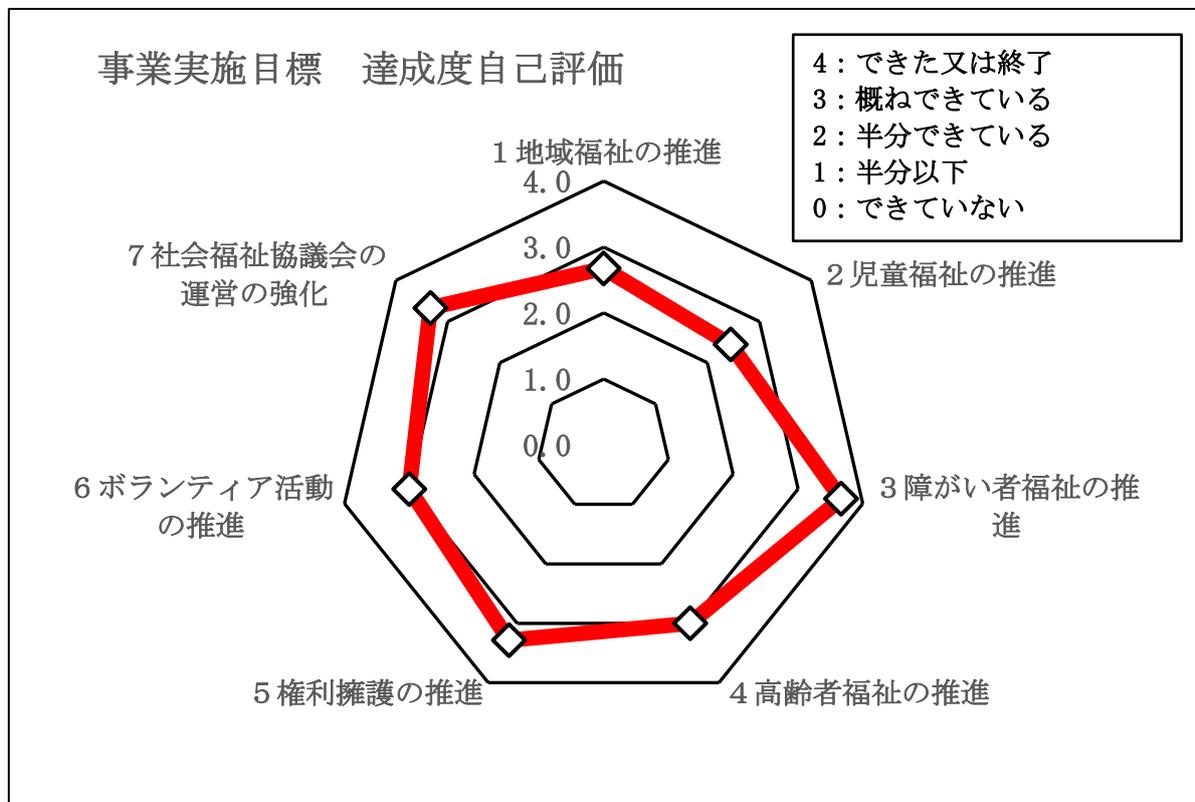
社会福祉法人  
新居浜市社会福祉協議会

	目	次
概要		2
重点目標結果		3
1 地域福祉の推進		
(1) 小地域福祉活動事業		4
(2) 企画・広報事業		5
(3) 共同募金運営事業		
(4) 民生児童委員協議会連携推進事業		
(5) 福祉施設協議会運営事業		
(6) 地域福祉バス運行事業		6
(7) 地域福祉バス運行事業（別子校区）		
(8) 福祉用具貸与事業		
(9) 日本赤十字社愛媛県支部新居浜市地区運営事業		
(10) 会員制度啓発推進事業		7
(11) まごころ銀行の運営		
(12) 総合福祉センター（本館）管理運営事業		
(13) 総合福祉センター（別子山分館）管理運営事業		8
(14) 地域包括支援センター協力機関業務（別子校区）		
(15) 生き生きデイサービス事業（別子校区）		
2 児童福祉の推進		
(1) 児童館運営事業		9
(2) 児童健全育成事業		10
(3) エンゼルヘルパー派遣事業		11
3 障がい者福祉の推進		
(1) 障がい者福祉センター運営事業		12
(2) 障がい者サロン事業		
(3) 障がい者在宅福祉対策事業		
(4) 地域福祉活動支援センターⅢ型「いぶき」運営事業		13
(5) 生活介護事業		
(6) 児童発達支援事業はげみ園		14
(7) 障がい者居宅介護等事業		
(8) 障がい者等移動支援事業		15
(9) 相談支援事業		
4 高齢者福祉の推進		
(1) 独居高齢者見守り推進事業		16
(2) 高齢者福祉センター運営事業		
(3) 居宅介護支援事業		18
(4) 訪問介護事業		
(5) 認知症対応型通所介護事業		19
(6) 訪問介護事業所職員連絡会運営事業		
5 権利擁護の推進		
(1) くらしの総合相談・支援事業		20
(2) 生活福祉資金貸付事業		
(3) 福祉サービス利用援助事業		
(4) 法人後見事業		21
(5) 生活困窮者自立支援事業		
(6) 緊急食料等支援事業		
(7) 新居浜を明るくする運動推進事業		
6 ボランティア活動の推進		
(1) 福祉ボランティア推進事業		22
(2) 福祉教育、生涯福祉学習		23
(3) 災害ボランティアセンター設置運営事業		24
7 社会福祉協議会の運営の強化		
(1) 理事会・評議員会の運営		25
(2) 財務運営、管理		
(3) 人事管理・人財育成		
(4) 労務管理		
(5) 社協発展・強化、その他計画の策定と進行管理		
(6) 広報活動・広報戦略		

概要

新型コロナウイルス感染症の影響により多くの制約がもたらされ、終息の目途が立たない不安の中で、昨年度に引き続き、地域活動や各種行事、イベントの中止・延期によって、人と人とのつながりが希薄化し、地域課題の複雑化やニーズの多様化、新たな課題の発生などが懸念されています。このような状況において、地域福祉の推進主体である新居浜市社会福祉協議会は、地域の生活課題を組織一丸となって受け止め、新居浜市や民生児童委員をはじめとする地域の様々な関係機関・団体と連携を図り、地域課題の解決に取り組むとともに、だれをも排除しない地域社会づくりを進めました。

住民一人ひとりが協働し、日々ともに支え合い、生活における楽しみや生きがいを見出し、生活上のさまざまな困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず安心して、その人らしい生活を送ることができる「ともに生きる豊かな地域社会」の推進に努めました。





**5 S推進ポスター作成 各課連携**  
 5 S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ) 啓発のために、各課でポスターを制作しました。



**フードドライブ 権利擁護課**  
 社協だより3月号でPRするとともに、協力依頼を行いました。



**地域交流会 障がい者施設課**  
 地域の方とじゃがいも掘りをしました。感染対策し、久しぶりに会う皆さんと楽しく交流しました。



**ふれあい健康教室(別子山) 高齢者施設課**  
 福祉バスで久しぶりに外出しました。天候にも恵まれ、笑顔でウォーキングが楽しめました。



**異年齢の交流 児童施設課**  
 県ヤングボランティア(中高生)とジュニアリーダーの協力でクリスマス会を実施しました。



**障がい者居宅介護等事業 介護事業課**  
 介護、家事等の生活全般にわたる援助や、外出時の移動の介助を行い、在宅生活を支援しました。



**楽しく水あそび 児童発達支援課**  
 夏の暑い日の水あそびに大喜び。あそびを通して、他者への関り方を身につけるなど、子どもの特性に合わせた発達を促しました。

## 重点目標結果

### 1 地域福祉の推進

コロナ禍による地域活動・会議等の中止・縮小により、計画通り進めることができませんでした。支部の財源確保や独居高齢者見守り推進事業の課題については、社協支部連絡協議会で意見を集約して、市担当課との協議を重ねました。

### 2 児童福祉の推進

コロナ禍により、休館もありましたが、児童館の特性である「拠点性・多機能性・地域性」を発揮しました。特に、利用者が安心して遊べるように消毒・換気を行いました。また、休館中に「工作キッド」の配布を行いました。地域の子育てサロンや出前児童館での依頼には、積極的に出向き連携を図りました。

### 3 障がい者福祉の推進

#### 【障がい者施設課】

コロナ対策を行い、安心・安全に利用できる施設運営に努めました。コロナ禍での福祉避難所開設訓練に向けて、防災研修会に参加し職員のスキルアップを図りました。

#### 【児童発達支援課】

コロナ対策を行い、利用児の特性・発達段階に合わせた療育を実施しました。オンライン研修や書籍等を参考に、サービスの質・専門性の向上に努めました。さらに関係機関と連携し、利用希望者の受入・相談・受診勧奨を行い、適切な療育開始につなげました。

#### 【介護事業課】

5年間の経営シュミレーションを行い、障害者居宅介護支援事業所に1名の正規職員を確保し、経営、運営の安定化を図りました。また、災害時利用者台帳を各事業所で整備しました。

### 4 高齢者福祉の推進

#### 【高齢者施設課】

臨時休館等の対応を行いながら、「健幸長寿」とともに「笑顔で気軽に利用できる施設」づくりに取り組みました。利用者の生きがい創出、健康づくり、生活支援事業（入浴事業は継続休止）をサービス提供するとともに、地域福祉の拠点（施設）として広報し、様々な連携により事業の充実を図りました。

#### 【介護事業課】

5年間の経営シュミレーションを行い、訪問介護事業所1名、居宅介護支援事業所1名、認知症対応型通所介護事業所3名の正規職員を確保し、経営、運営の安定化を図りました。また、災害時利用者台帳を各事業所で整備しました。

### 5 権利擁護の推進

昨年からのコロナ禍による特例貸付をはじめ、生活困窮者自立支援や障がい者権利擁護等、あらゆる生活上の相談に対応しました。困難な課題には、関係機関との連携と伴走型支援を徹底しました。研鑽に努め、利用者に対等な関係を保ちながら、利用者自らが選択して主体的に課題解決に向けた行動ができるよう、心がけました。

### 6 ボランティア活動の推進

新しいホームページを作成し、団体やボランティア活動の情報を集約整理するとともに、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用して発信や支援を行いました。また、個人ボランティアの登録や活動を推進しました。福祉教育についてはガイドブックを作成配布し、新たなプログラムを取り入れました。

### 7 社会福祉協議会の運営の強化

組織基盤強化において、事業運営のPDCA（plan, do, check, action）サイクルの仕組みづくり、目標管理・人事評価と事業計画・報告の関連付け、研修体系化による人材育成を行いました。また、各課選出職員による5Sと70周年記念事業委員会を開催し、職員の連携を図りました。

# 実施項目

※・・・項目の記述内容

## 1 地域福祉の推進 [※事業実施目標]

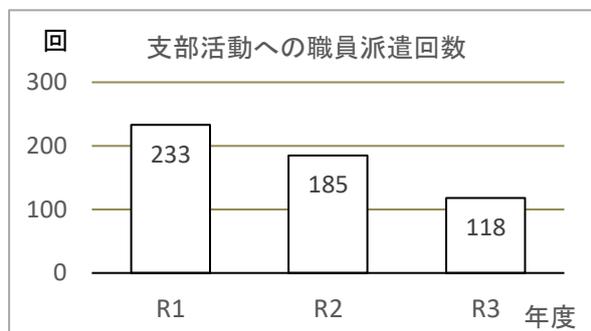
### (1) 小地域福祉活動事業 [※事業名]

#### ①社協支部活動推進事業 [※小項目事業名]

地域福祉推進の中核となる社協支部の活動拠点整備、財源確保、組織強化、その他活動支援を行いました。 [※事業内容]

各支部の活動や会議には可能な限り参加しました。コロナ禍により、多くの研修が実施できませんでした。継続的な地域福祉活動計画は1支部の策定支援を行いました。

[※課の目標や職員目標管理等による結果]



[※過去からの推移グラフ等]

・会議、研修会など

種別	回数	出席者数	内容
社協支部連絡協議会	4	69	令和2年度事業報告について他(第1, 3回はコロナ感染症のため中止)
分野別研修	0	0	会計研修中止のため、資料のみ送付
先進地研修	0	0	中止
初任者研修	1	17	市社協並びに社協支部の活動等を説明

#### ②大島校区・別子校区地域福祉活動支援事業

高齢化率の高い、島しょ部・中山間地域に対する地域福祉活動への支援を行いました。

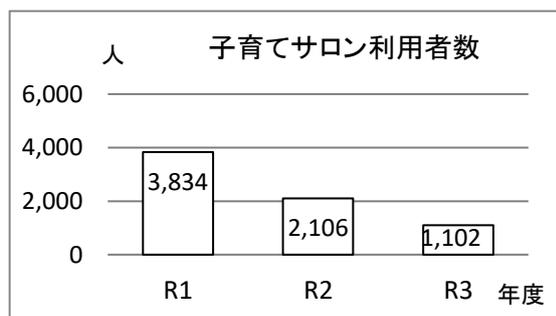
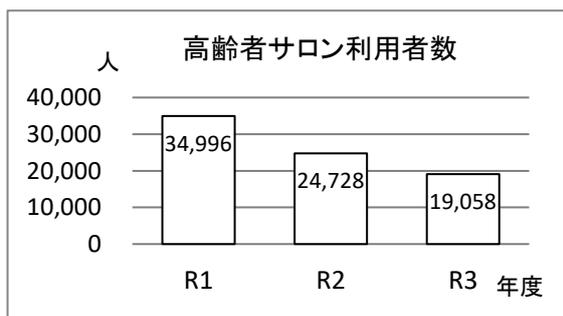
【大島校区】ケアネットワークに参加し、移動支援等の地域課題の協議・検討を行いました。次年度の住民対象アンケートの準備を進めました。

【別子校区】関係人口創出を目的として、十全看護専門学校を対象に講義を実施しました。また、学生の独居高齢者宅への訪問活動について協議しました。

#### ③サロン支援事業

地域の高齢者・子育てサロンの内容の充実と普及を行いました。

コロナ禍により、多数のサロンが自粛や中止となりました。サロンへの各課連携について協議しました。



## (2) 企画・広報事業

愛媛県社会福祉大会参加、社会福祉大会・生き生き幸せフェスティバルを企画、実施することにより、広く地域に福祉の啓発を行いました。

【福祉大会】式典が実施できなかったため、各団体を通じて表彰状を授与しました。ワークキャンプの作文発表の代わりに福祉の作品集を発行しました。  
 【生き生きフェス】アンケートを実施し、慎重に協議しましたが、最終的に中止となりました。次年度に向けて、コロナ対策を徹底したうえでの開催方法を提案しました。

種別	日程	参加者数	内容
第69回愛媛県社会福祉大会	10月20日	/	式典中止 表彰状を推薦団体を通して授与
第26回生き生き幸せフェスティバル・ボランティアフェスティバル	10月3日	/	中止
第40回新居浜市社会福祉大会	12月4日	/	式典中止 表彰状を推薦団体を通して授与

## (3) 共同募金運営事業

赤い羽根共同募金に関する募金活動、啓発活動、配分事業を行いました。

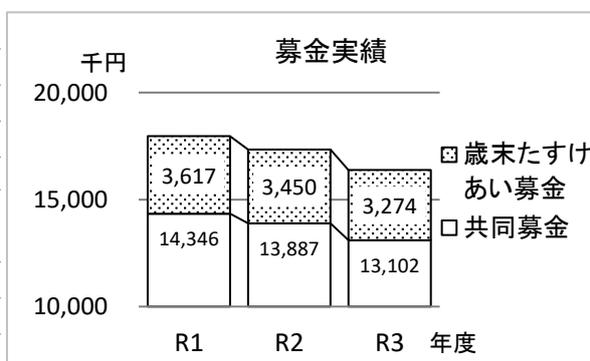
商工会議所と連携し、新たに120社に募金箱を設置していただきました。市社協全体で取り組み、職域募金が増加しました。横断幕、CATVのコマーシャルなどで広く市民に広報しました。

### ・募金実績

募金種別	共同募金	歳末たすけあい募金
期間	10/1~3/31	12/1~12/31
目標金額	16,250,000	3,260,210
募金金額	13,102,324	3,274,144

### ・配分実績（新居浜市の地域配分）

募金種別	共同募金	歳末たすけあい募金
配分団体・事業数	25	18
配分金額	5,835,123	3,260,210



## (4) 民生児童委員協議会連携推進事業

会議への参加・協力により連携を行うとともに、見守り推進員との連携を促進し、連絡調整を行いました。

役員会、理事会に参加し、情報共有を行いました。活動強化方策やガイドブック・手引書等の作成に協力しました。

## (5) 福祉施設協議会運営事業

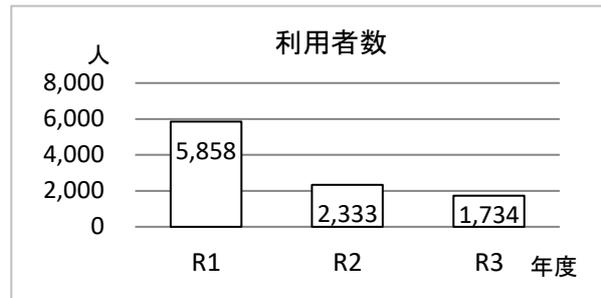
市内福祉施設の情報交換や相互連携の支援を行いました。

会議は書面審議、研修会は未実施となりました。ウェルフェアバザールは状況に合わせて実施し、ゲリラウェルフェアも行いました。参加可能な施設の協力により、「ふくしのお仕事講座」を開催しました。

### (6) 地域福祉バス運行事業

高齢者福祉センター利用者の送迎を行うとともに、福祉団体の研修等で有効活用しました。

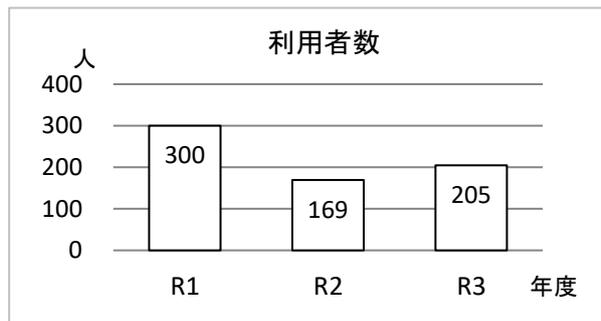
運休期間もありましたが、感染対策をしながら安全に運行しました。シニア交流センターの利用も少し増加し、利用者の協力を得て、安全なコース設定を行いました。



### (7) 地域福祉バス運行事業 (別子校区)

生き生きデイサービス及び分館の利活用日に送迎しました。また、地域住民の社会参加を促進する活動に利用しました。

運転手の確保などの課題から、運転業務の委託について検討し、内部での協議を行いました。



### (8) 福祉用具貸与事業

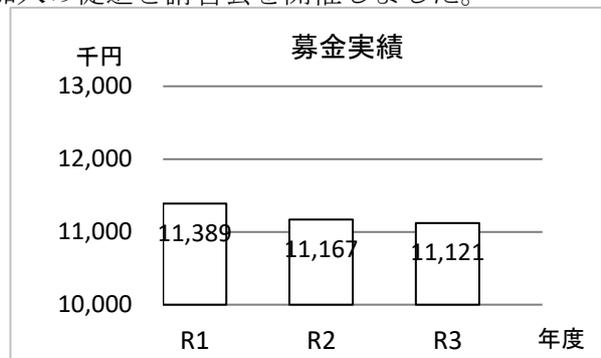
施設入所者の一時帰宅や介護認定申請中の利用等に対する車椅子等の貸与を行いました。

貸与に関して利用者に説明し、正しく使用してもらうことができました。難しい案件についてはその都度対応しました。工業高校と連携して、譲渡、修理等の活動に結び付けることができました。

### (9) 日本赤十字社愛媛県支部新居浜市地区運営事業

赤十字活動の周知を行い、日本赤十字会員加入の促進と講習会を開催しました。

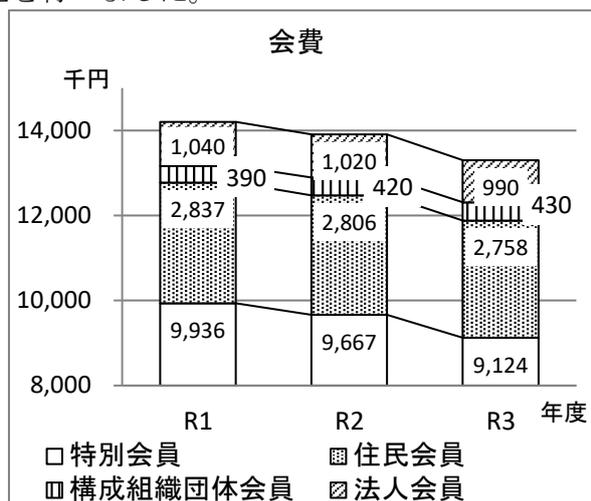
募金実績が減少しているため、募金実績のない企業を調査しました。また、自治会への地域福祉活動費を振込とし、事務を効率化しました。



### (10) 会員制度啓発推進事業

社協会員の適正な管理運営と会員制度の啓発を行いました。

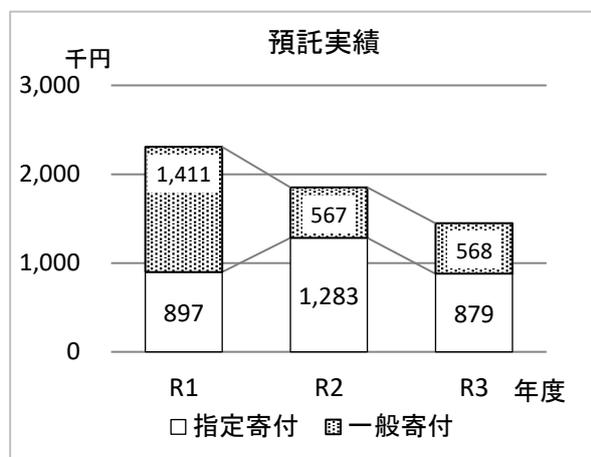
支部活動や会費についてより分かりやすく広報するため、支部独自のチラシの作成やお礼名簿の作成など、支部の状況に合わせた柔軟な対応を行いました。



### (11) まごころ銀行の運営

寄付を預託し、福祉サービス等の各種事業へ活用しました。

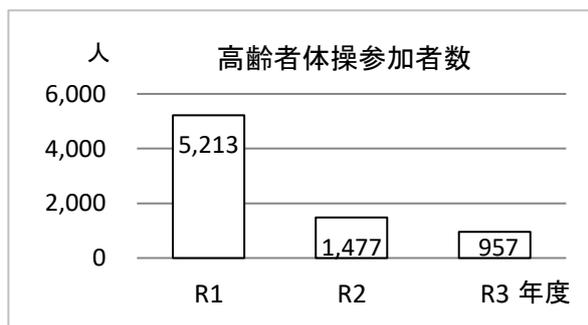
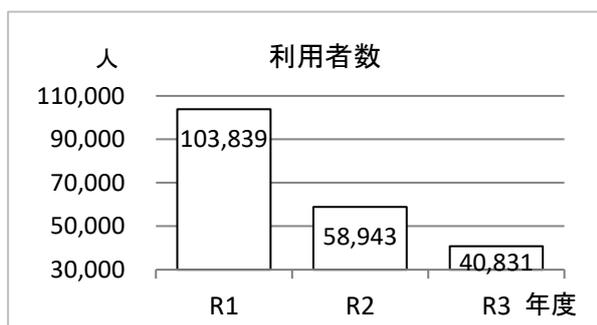
募金実績が減少しているため、ホームページに預託者を定期的に掲載して、広く周知しました。権利擁護課と連携し、社協だよりで広報しました。



### (12) 総合福祉センター（本館）管理運営事業

安心安全な施設運営を行い、地域福祉の拠点施設として情報提供を総合的に実施しました。

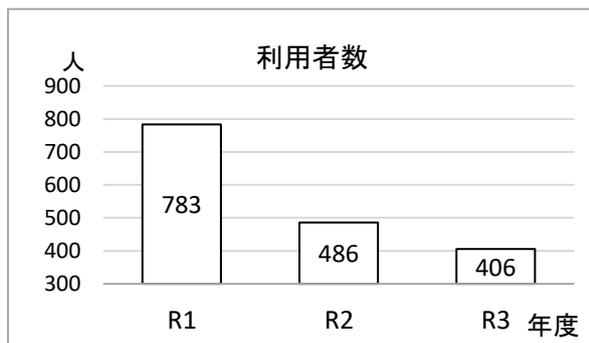
地域福祉課と協議し、地域福祉情報の掲示を1カ所にまとめました。掲示物を含め施設環境の整備を行った結果、アンケートで「利用しやすい」と答えた人が、昨年度より5%増加して81%になりました。また、設備機器の長期保全計画を作成しました。



### (13) 総合福祉センター（別子山分館）管理運営事業

適切な管理運営を行い、住民主体の福祉活動拠点として、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図りました。

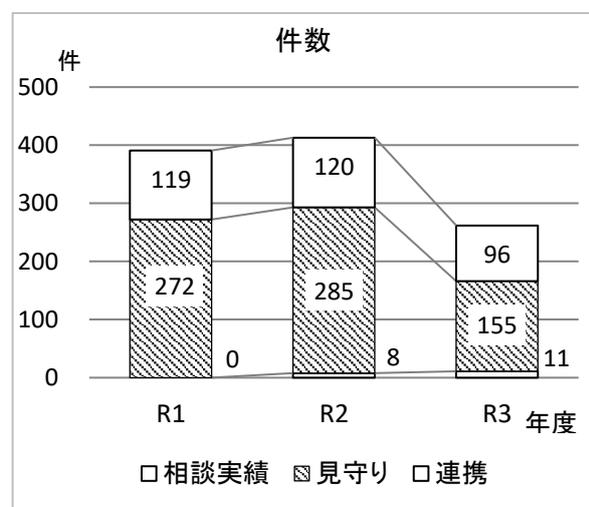
関係人口創出を目的とした事業を、別子山支部と協働で十全看護専門学校において実施しました。広報については法人内部で協議しました。さらに施設紹介のための具体的な資料作成が必要です。



### (14) 地域包括支援センター協力機関業務（別子校区）

別子校区の高齢者の相談支援を実施しました。地域ケアネットワーク推進協議会（月1回）を開催しました。

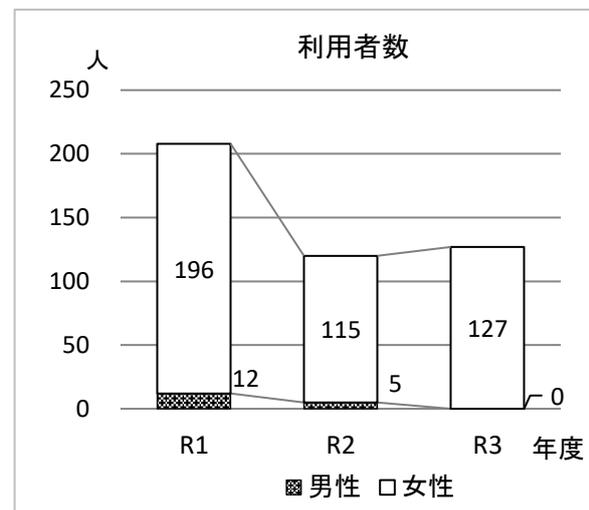
地域ケアネットワーク推進協議会において協議し、体制維持と連携強化に重点を置くことと、今後、高齢者宅の定期訪問を実施することを確認しました。ICTの活用は先行事例である西予市社協と意見交換を実施しました。



### (15) 生き生きデイサービス事業（別子校区）

別子校区の高齢者の自立生活の助長、社会的孤独の解消、心身機能の維持向上等を目的とした内容を実施（月2回）しました。

閉館のため頻繁に休止となりましたが、開催の際には感染予防対策を徹底して実施しました。また、校区内外の方々との交流もできました。



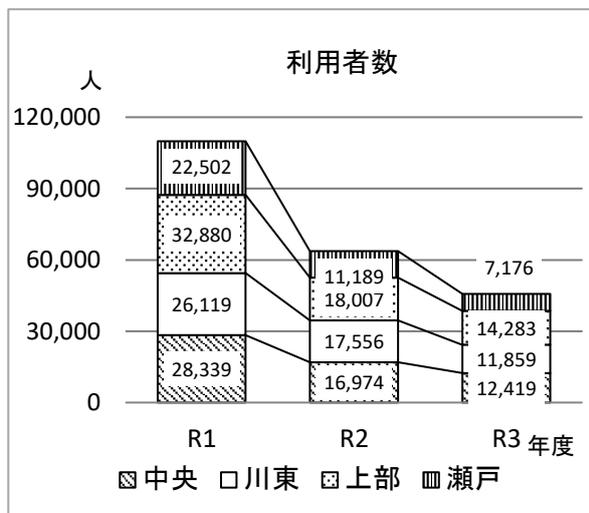
## 2 児童福祉の推進

### (1) 児童館運営事業

#### ①一般来館児童対象事業

一般来館児童の遊びの指導や援助をしました。季節行事、あそびの広場を開催しました。

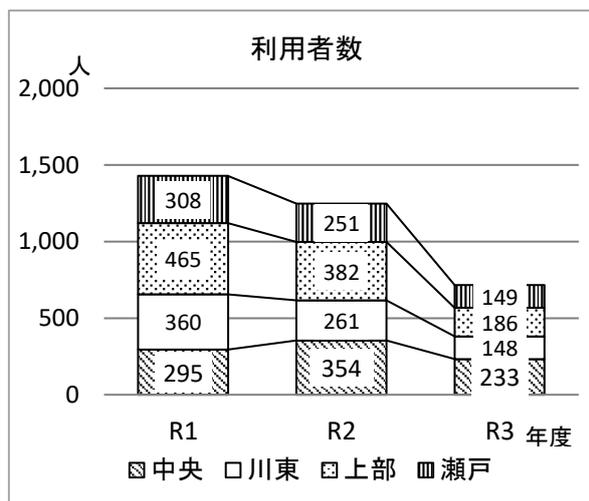
感染対策のため、おもちゃを使用後に消毒し、安心して利用していただきました。また、臨時休館中でも工作キットの配布や館だより、HPで遊びの情報を提供しました。  
職員とジュニアリーダーのできる行事を計画して実施しました。



#### ・あそびの広場実施状況

一般来館児童を対象に週に一度、異年齢で集団遊びや制作等を行う「あそびの広場」を実施し、子ども達に連帯感や仲間意識を育てることに努めました。

月の予定を館だよりや館内にて掲示し、誰でも気軽に参加できるようにしました。  
毎回、楽しみにしてくれる利用者もいて参加人数を見ながら子ども同士が楽しめるようにしました。

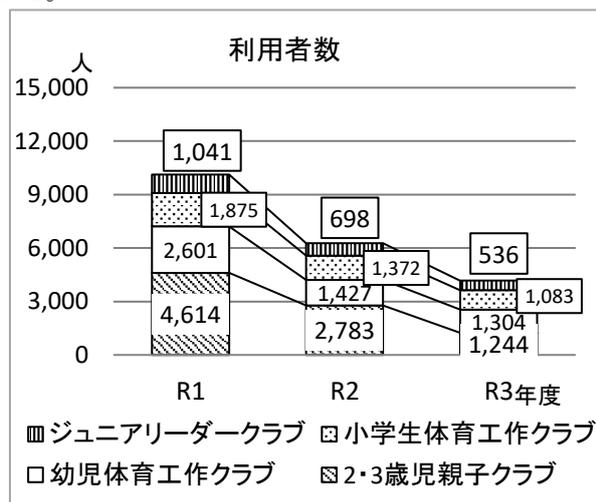


## ②クラブ活動

発達段階に応じた年齢別クラブを実施しました。

市政だよりや館だよりでクラブ員の募集を行い、定員を越すクラブもありましたが、定員に達していないクラブへは声掛け等による積極的な募集を行いました。

各クラブは楽しく過ごせる内容を考え実施しました。

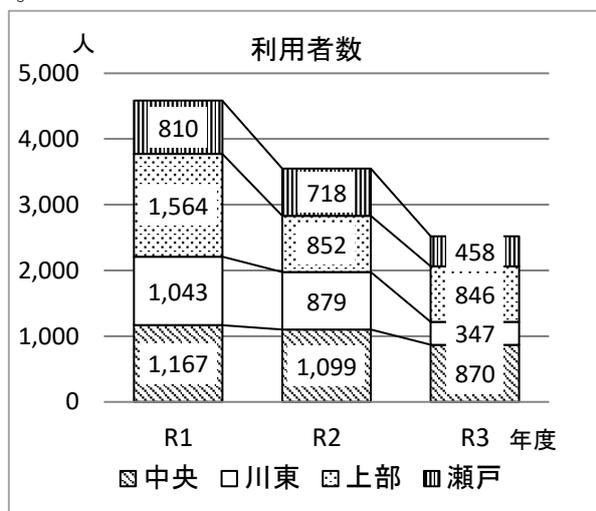


## ③サークル活動

概ね2歳までの親子を対象に、遊びを通して親子の絆を深めるとともに母親同士の仲間づくり、情報提供等、子育ての支援を行いました。

参加しやすい雰囲気作りを行い、リピーターも増えました。

開催日等他機関と重複しないよう情報収集したり、要望のあった新規サークルの開設も行いました。



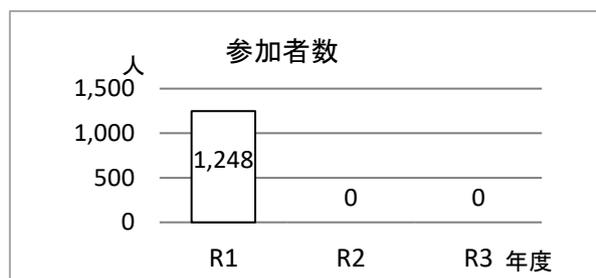
地域組織活動の育成、児童健全育成相談事業、子どもボランティア育成支援活動、豊かな文化の伝達や児童文化の提供を行いました。

相談事業は日常会話から相談しやすい雰囲気で行いました。ボランティア育成活動は行事を通じて協力を得ました。文化の伝達は普段から遊べるように準備して指導しました。

## (2) 児童健全育成事業

### ①いはいまやんちゃKIDS

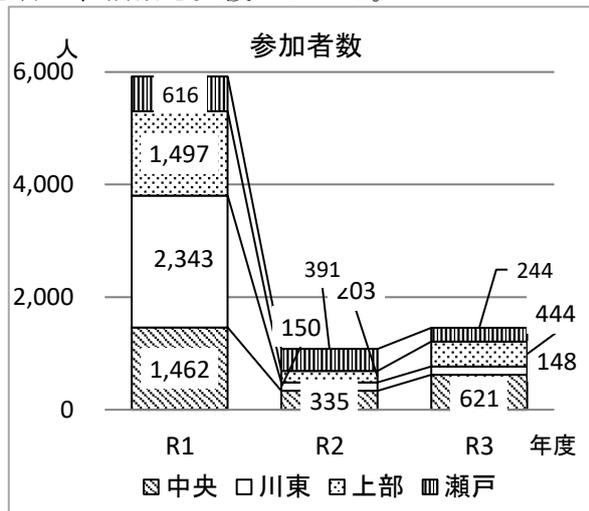
内容を検討しましたが、参加者の感染リスクが高いため、中止としました。



## ②出前児童館

団体の依頼により地域で遊びの提供や指導を行い、活動を支援しました。

「出前児童館おしながき」を作成しました。認知度調査を行い、現状を把握しました。回数は減少しましたが、感染対策を行い実施しました。



## ③子育てサロンへの協力

地域の子育てサロンに協力して、情報を共有し、子育て家庭を支援しました。

子育てサロンの実施が減少しましたが、開催しているサロンの情報交換を行いました。未開催サロンの地域へのアプローチを行えませんでした。

## ④配慮が必要な児童への支援

発達や家庭環境に配慮が必要な児童に、関係機関と協力して継続的に支援しました。

関係機関から情報を得て、対象児童の観察を行いました。行動が気になる児童に対して、学校に連絡して対応しました。

## ⑤いのちの授業

地域関係者の協力により、中学3年生が赤ちゃん親子とふれあう体験を提供しました。

コロナ禍により母子参加を中止としました。実施校3校を早期に確定し、詳細な打合せを行い、講義のみを実施しました。地域への協力依頼できなかったため、地域との関係を深められませんでした。



## (3) エンゼルヘルパー派遣事業

養育者の産前産後、病気療養が必要な家庭にヘルパーを派遣し、生活の安定と子育て負担の軽減を図りました。

家事や育児の支援が必要な方に対し、子育ての負担軽減及び家庭生活の安定が図れるよう、適切なサービスの提供を行いました。また、利用者の希望がある場合は、民生児童委員に対し、必要な情報の提供を行いました。

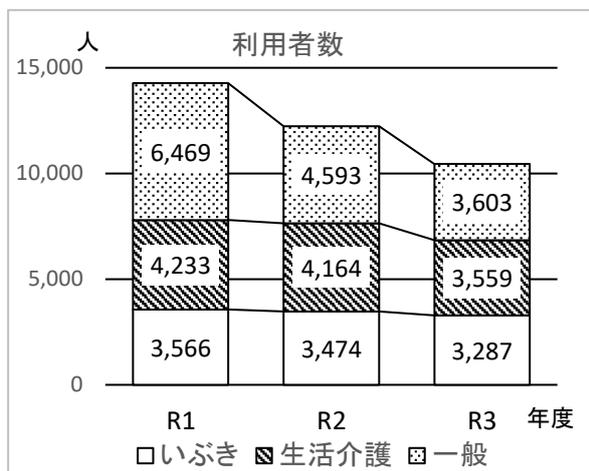


### 3 障がい者福祉の推進

#### (1) 障がい者福祉センター運営事業

障がい者に日常の場を提供し、教養の向上、社会参加、レクリエーションを供与し、福祉の増進を図りました。

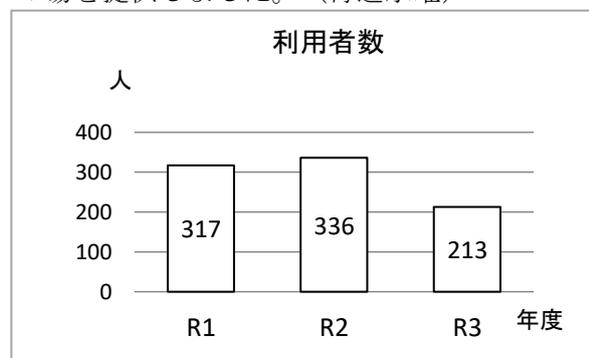
各種行事が中止となりましたが心身障害者(児)団体連合会の定例会に参加、その他ではコロナ対策を実施した行事の計画作成の支援を行いました。



#### (2) 障がい者サロン事業

仲間作りや情報共有などのコミュニケーションの場を提供しました。(毎週水曜)

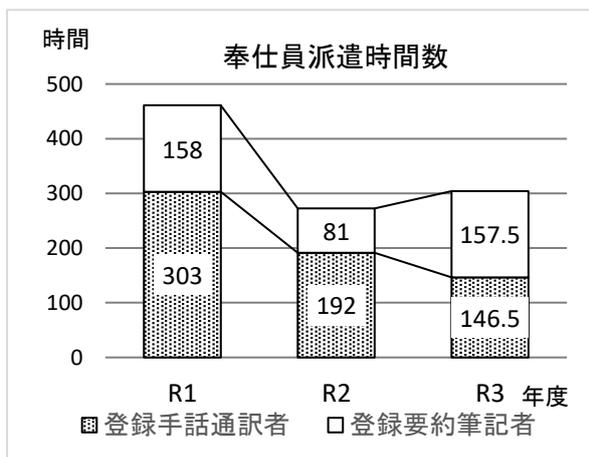
コロナ禍の中でも楽しめる内容を利用者全員で考え、マンネリ化にならないように2つ以上、新しい内容を取り入れることができました。



#### (3) 障がい者在宅福祉対策事業

意思疎通支援事業、生活訓練事業、身体障がい者スポーツ教室等開催事業・大会開催事業、リフト付き福祉バス運行事業を実施しました。

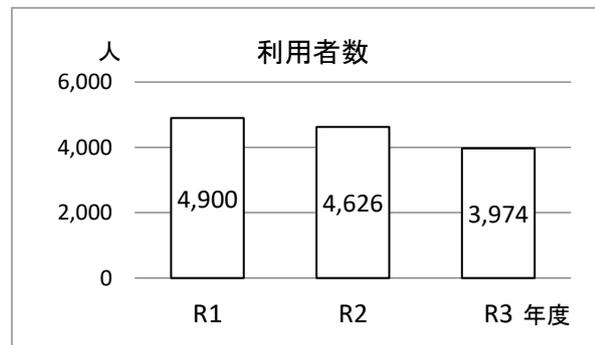
参加者が安心して参加できるよう、コロナ対策を行い各事業を実施しました。特に意思疎通支援事業については、チラシ作成や説明会を開催して、利用者増へつなげることができました。



内容	回数	人数	内容
生活訓練事業	13	173	ひまわり学級4回(文芸教室、講演会、料理教室2回) 生け花教室9回
身体障がい者スポーツ教室等開催事業	11	219	ボッチャ3回、水泳1回、バドミントン5回 軽体操2回
身体障がい者スポーツ大会開催事業	0	0	中止。

#### リフト付き福祉バス運行事業

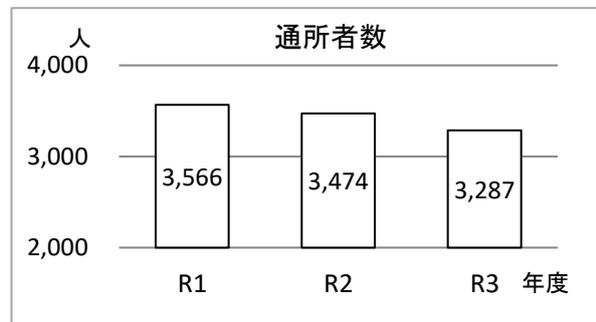
感染対策を行いながら安全に運行しました。野外活動(ひまわり学級)や行事等が中止になったことにより、年間の利用者数は減少となりました。



#### (4) 地域活動支援センターⅢ型「いぶき」運営事業

通所により自立更生に必要な訓練及び、職業的な作業等による自主製品作り、企業の受託や行事を通して、社会参加を促進しました。

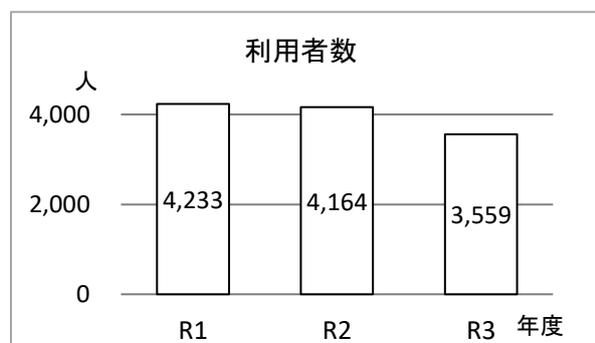
特別支援学校の説明会への参加、その他関係機関への広報活動を積極的に行いました。地域交流会は、コロナ対策を行い年3回実施して、地域住民との交流を図ることができました。



#### (5) 生活介護事業

障がい者の身体状況や環境に応じて、自立促進、生活の質の向上を図るため、日常生活上の介護や訓練及び創作活動を実施しました。

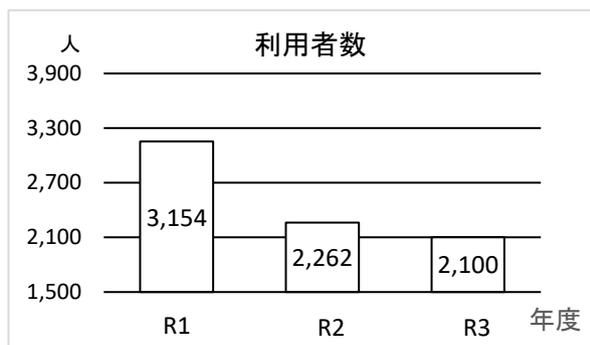
オンラインを利用し、全職員が1回以上、研修会を受講し提供するサービスの質の向上に努めました。また、ケア会等で伝達研修を実施し職員間の共有を図りました。



## (6) 児童発達支援事業はげみ園

未就学の障がい児に対し、早期から特性に合わせた専門療育を実施しました。

コロナ禍に注意を払いながら運営を行い、1日平均利用者数8.7名となりました。また、関係機関と連携して、利用待機者に限らず、外来相談に応じるなど、広く障がい児福祉を向上させるよう努めました。



## (7) 障がい者居宅介護等事業

居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護を実施しました。

### ①居宅介護

障がいがある方に対して身体状況等に応じた利用者本位の計画を作成し、身体介護、家事援助等生活全般にわたる援助を行い、地域生活を支援しました。

### ②重度訪問介護

重度の障がいがあり常時介護を要する方に対して、利用者本位の計画を作成し、介護、家事等の生活全般にわたる援助や外出時における移動中の介護を行い、在宅生活を支援する事業ですが、利用はありませんでした。

### ③行動援護

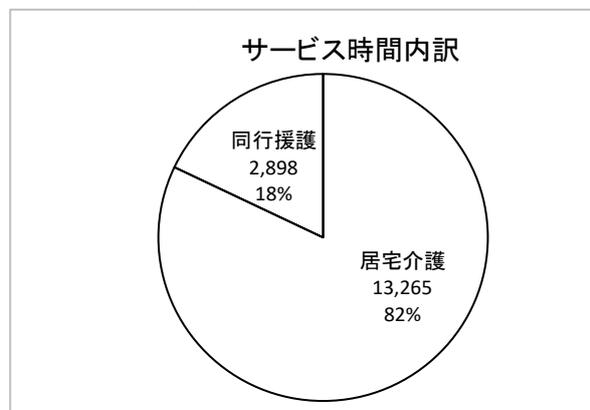
障がいがあることで行動に困難を有する方に対して、利用者本位の計画を作成し、行動する際に生じる危険を回避するための援護等を行い、社会参加と地域生活を支援する事業ですが、利用はありませんでした。

### ④同行援護

視覚障がいのため移動が困難な方に対して、利用者本位の計画を作成し、外出時に同行して移動の援護等を行い、社会参加と地域生活を支援しました。

居宅介護では、相談支援事業所や病院と連携を図るとともに、中重度の障がいのある利用者及び、その家族の希望を聞き取り、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう身体介護をはじめ生活全般の援助を行いました。

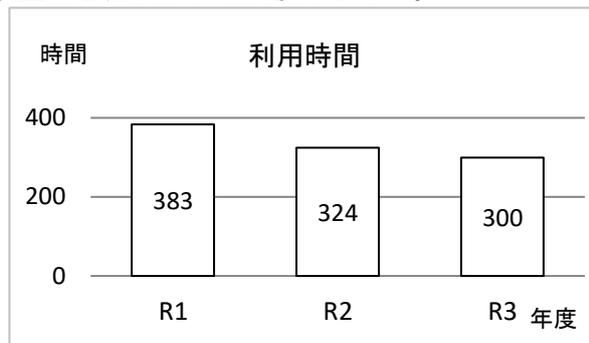
同行援護（ガイドヘルプ）では、松山市などで行われる行事やイベントへの参加、定期的集まるカラオケなどは自粛を求めたことから利用時間は減少となりました。



### (8) 障がい者等移動支援事業

屋外の移動困難な障がい者に外出援助し、地域生活と社会参加を支援しました。

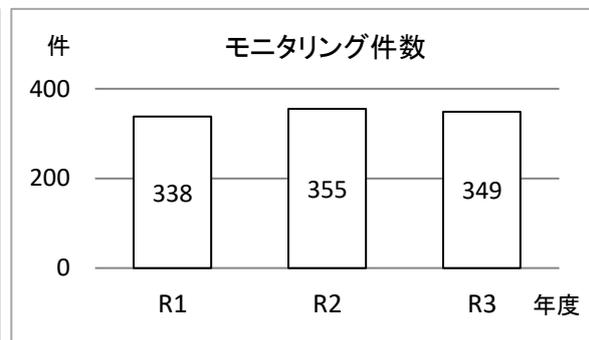
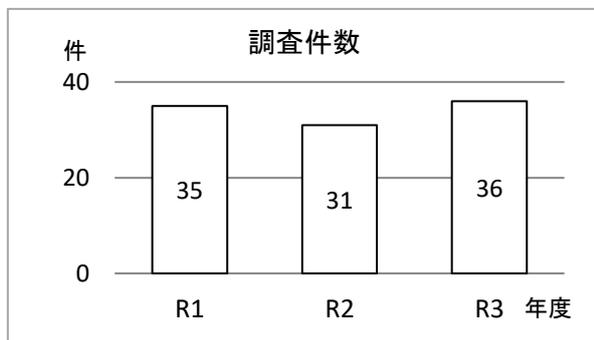
ワクチン集団接種などの外出援助は積極的に支援しましたが、不要不急（散歩、大型ショッピングセンターでの買物など）の外出については自粛を求めたことから、利用時間は2年連続の減少となりました。



### (9) 相談支援事業

障がい者の自立に向けて課題の解決や適切なサービス利用に向けて相談支援を実施しました。

関係機関との情報共有と、イベント共同開催の広報啓発で、早期のニーズ把握とコーディネートができました。また、市相談支援事業所連絡会事例検討会や障がい者支援の防災研修会他で支援技術の向上を図りました。



## 4 高齢者福祉の推進

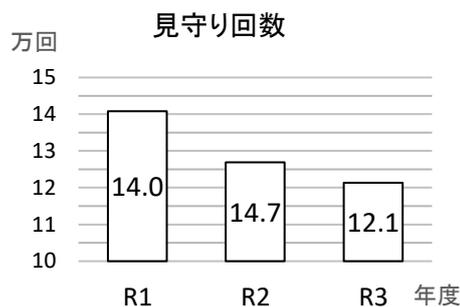
### (1) 独居高齢者見守り推進事業

在宅独居高齢者が安心して生活ができるよう、地域関係者の参加・協力で、見守り推進員による安否確認を実施しました。

システムを導入し、円滑な事業運営を図りました。事業内容の見直し等、支部連絡協議会、市介護福祉課と課題を協議、検討しました。

見守り推進員	見守り対象者
277	2,920

令和3年4月1日現在



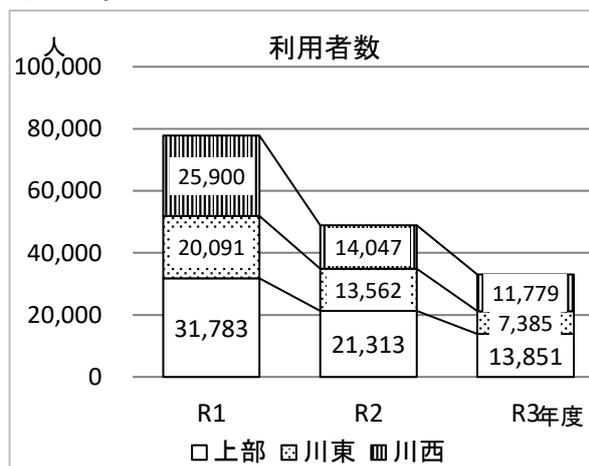
### (2) 高齢者福祉センター運営事業

#### ① 高齢者福祉センターの管理運営

健幸（健康）長寿のまちづくりを実現するため、生きがい創出、健康づくり、生活支援を行う拠点として、幸齢者（高齢者）福祉の増進を図りました。

行事報告をホームページへ掲載し、地域住民に周知しました。地域の見守り活動推進団体と協働して、認知症の勉強会を開催し、演劇による交流を行いました。関係機関との協働事業を行いました。民間メディアで、広く市民に広報しました。

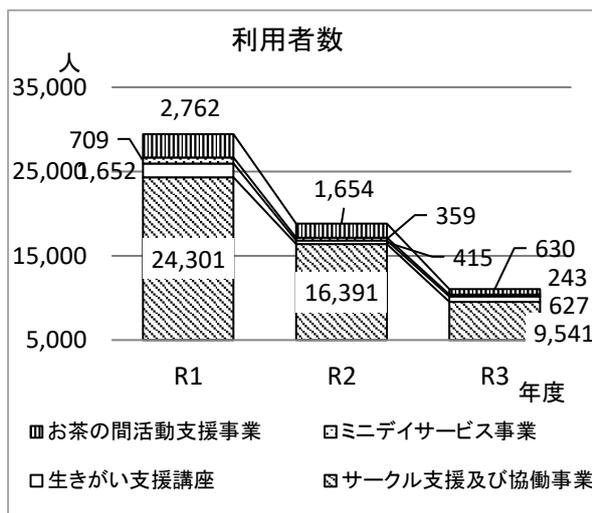
コロナ禍により、5、9、2月が臨時休館となりました。



### ②生きがい創出事業

サークル支援、講座により、仲間づくり・趣味づくり・社会参加をとおして、豊かな生活を送れるよう活力を創出しました。

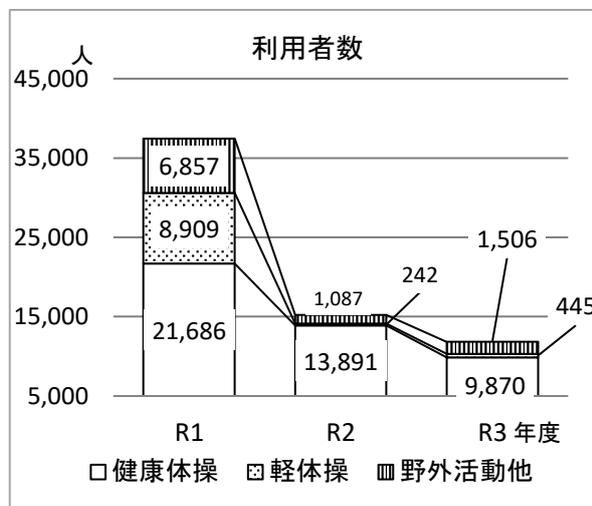
社協支部等の依頼に応じる出張サロンの実施に向けて、各センターでサロンメニュー等を準備しました。  
 終活講座や成年後見制度などの情報提供及び相談会の開催については、コロナ禍により開催中止となりました。



### ③健康づくり事業

体操や健康教室の知識供与、相談・保健指導等で、健康維持・体力増進を図り、日常生活を送れるよう安全・安心を創出しました。

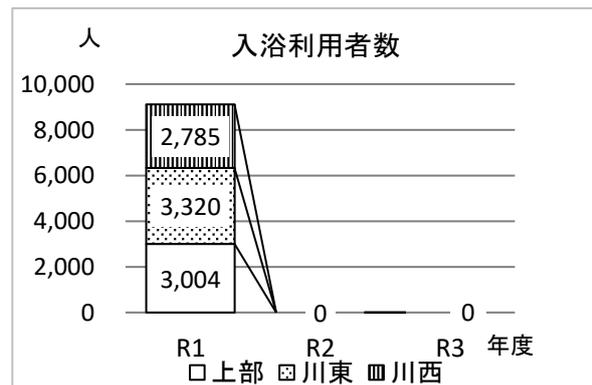
社協の理学療法士による「家でもできる体操」の実技講習会をモデル実施しました。認知症予防に向けて、ウォーキング（散策）や買物などを取り入れた野外活動を実施しました。  
 看護師による血圧測定を行うとともに健康相談を随時実施し、助言・指導を行いました。



### ④生活支援事業

生活相談・指導、入浴事業で生活課題の早期発見と予防で、生活の安定を図り、関係機関と連携して生きる力を創出しました。

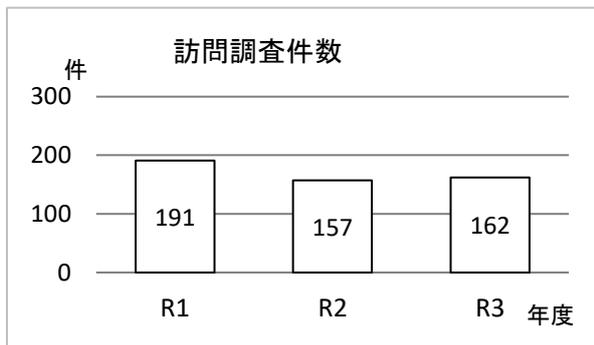
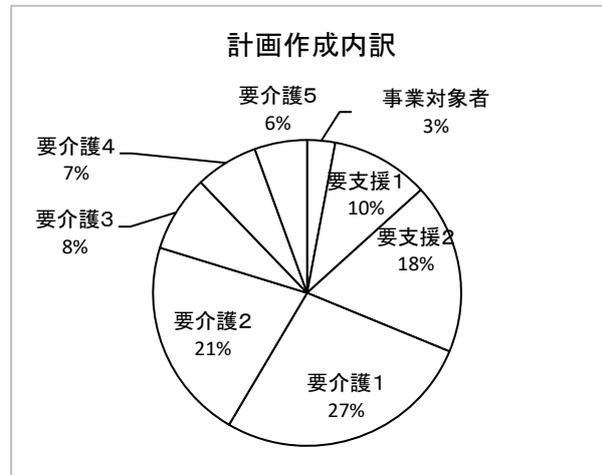
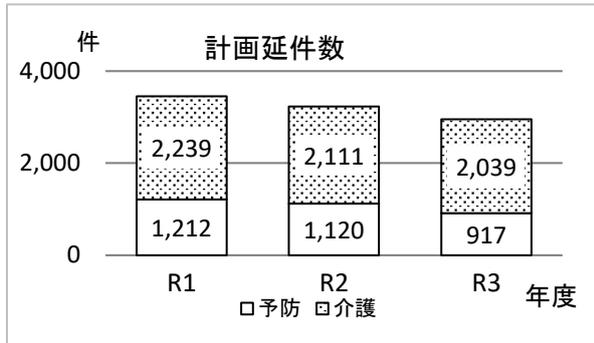
利用する独居高齢者の情報共有に向けて、「緊急連絡カード」を追加更新することで、災害時や平時の緊急連絡できるように整備しました。入浴事業は、コロナ禍対策により休止としました。



### (3) 居宅介護支援事業

アセスメントを行い、利用者本位の計画を作成し、計画に沿ったサービスを提供しました。

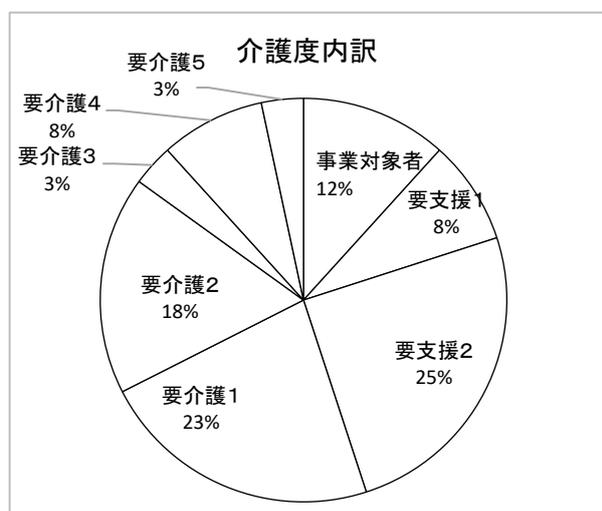
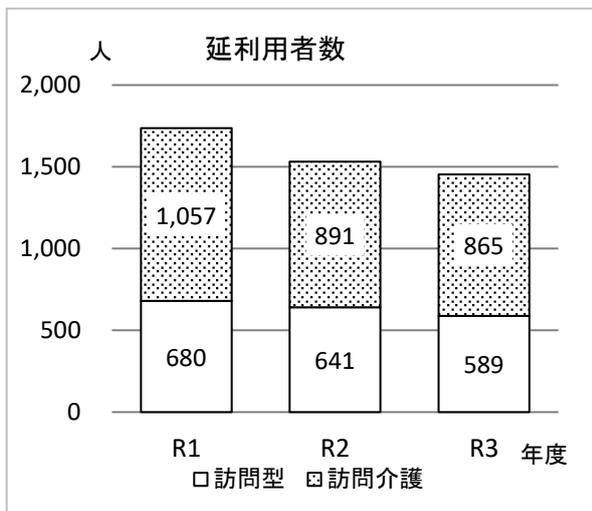
独居や認知症のある利用者及びその家族の希望を聞き取り、いざという時に必要な情報・支援を社協支部及び民生児童委員に伝え、地域における見守り体制を整えました。また、災害時利用者台帳の整備を行うとともに、利用者に防災意識の重要性を周知しました。コロナ禍により、アセスメントで自宅への訪問を拒否されることが多いなか、電話やFAXで利用者の状態把握に努めました。



### (4) 訪問介護事業

利用者のニーズに沿った訪問介護計画を作成し、居宅においてサービスを提供しました。

利用者の同居家族がコロナウイルス感染者となった場合や、本人が濃厚接触者となった場合でも、サービス提供を休止しないよう、感染予防対策を徹底して通常どおりのサービス提供に努めました。職員の感染に対する不安の解消や、自身が感染媒体にならないよう、事業所で抗原検査キットを購入し、適宜検査して感染の予防に努めました。

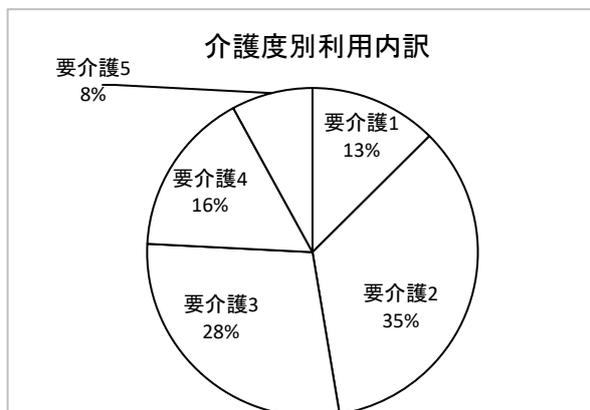
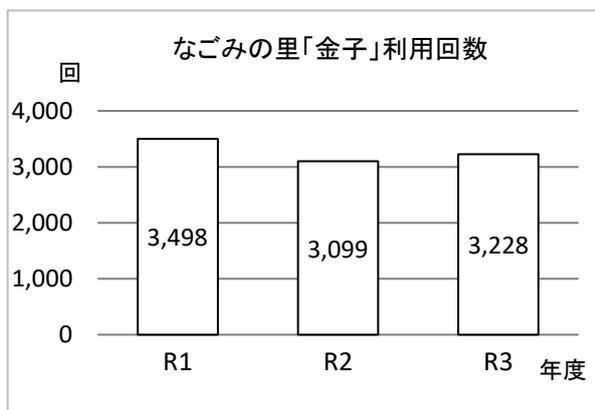
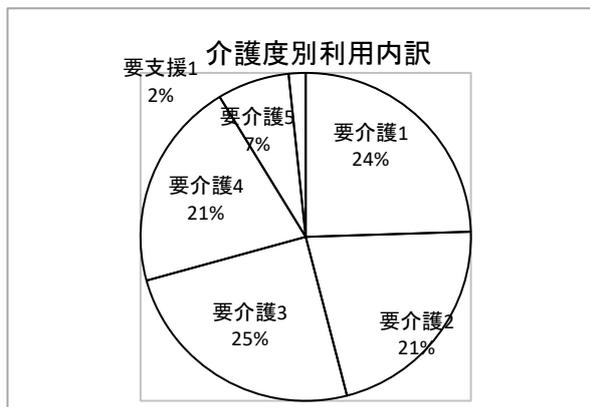
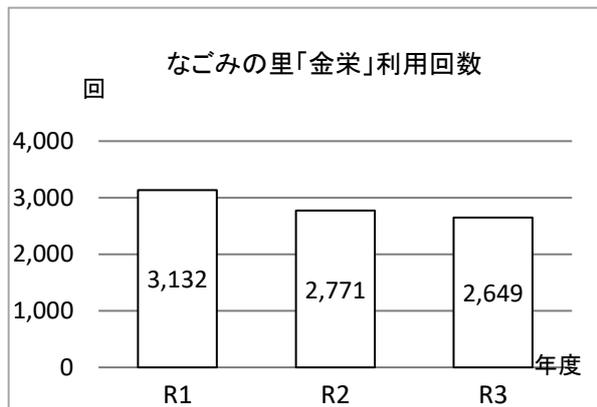


### (5) 認知症対応型通所介護事業

認知症の方が可能な限り居宅での日常生活が送れるよう、入浴、食事介護や機能訓練を実施し、家族の身体的負担を軽減しました。

4 (4) 訪問介護事業と同じ。

また、他機関の居宅介護支援事業所へ利用空き状況を毎月 F A X し、新規利用者の獲得に努め、経営の安定化を図りました。



### (6) 訪問介護事業所職員連絡会運営事業

新型コロナウイルス感染拡大のために、会議や研修の開催ができませんでした。

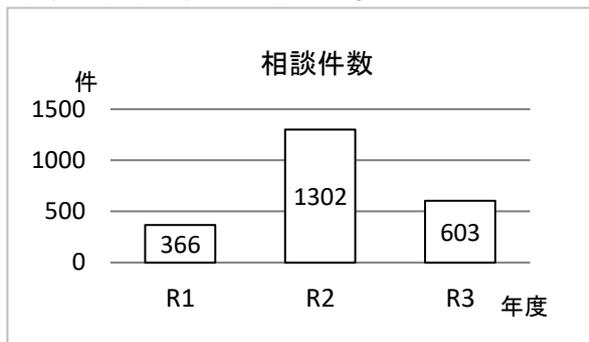
回数	参加人数	研修内容
0	0	中止

## 5 権利擁護の推進

### (1) 暮らしの総合相談・支援事業

専門機関や相談支援員が中心となり、日常のあらゆる相談を受付しました。

コロナ禍により、生活困窮に陥った方からの相談が多く寄せられました。特例貸付にとどまらず、必要に応じ各種給付の紹介や住居確保などの生活全般に関わる支援に繋がりました。

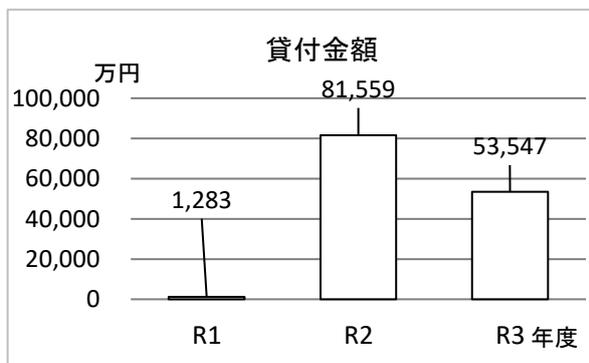


相談内容	相談員	相談日	開設日	件数
一般相談	自立相談支援員	毎日	242	591
登記、遺言、土地家屋調査相談	公証人、司法書士、土地家屋調査士	毎月1回	10	12
社会保険相談	社会保険労務士	毎月1回	10	0
精神障がい者家族相談	新居浜家族会会員	毎月1回	10	0
	合計		272	603

### (2) 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支え、在宅福祉及び社会参加促進を図り、生活改善を支援しました。

世帯の状況と課題を正確に把握し、資金貸付により自立が見込まれる世帯に対し貸付を行いました。また、面接を通じて、貸付後も安定した生活が送れるよう家計改善支援を行いました。

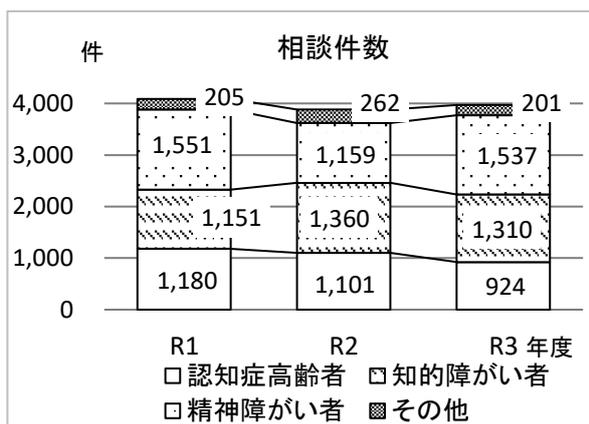


### (3) 福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な方が在宅で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や金銭管理等を実施しました。

利用希望者の増加に伴い、緊急度に応じた利用契約を交わしました。

また、生活支援員の定期的な訪問と専門員の継続的な支援により、利用者の変化にいち早く気づき、必要な福祉サービスへ繋ぐことができました。



#### (4) 法人後見事業

被後見人等身上監護、財産管理を適正に行い、相続関係、施設入所、福祉サービス利用契約の手続きを実施しました。

成年後見制度利用促進準備会のメンバーとして令和4年4月1日「成年後見支援センター」設置に向け活動しました。成年被後見人等10人の財産管理及び、医療や福祉サービスの利用等を適切に支援しました。

・受任状況（令和3年3月31日現在）

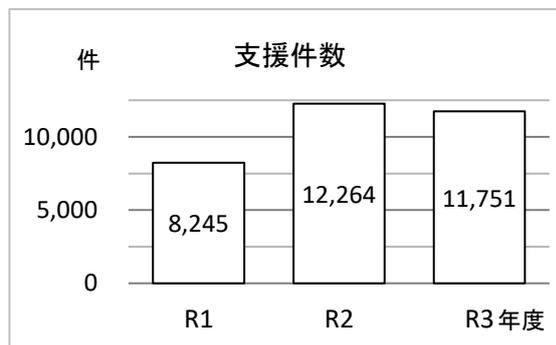
区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
受任者数	4	4	2	10

区分	後見	保佐	補助	合計
受任者数	6	4	0	10

#### (5) 生活困窮者自立支援事業

経済的困窮や社会的孤立など複合的な生活困難を抱える人々に、寄り添い型支援を実施しました。

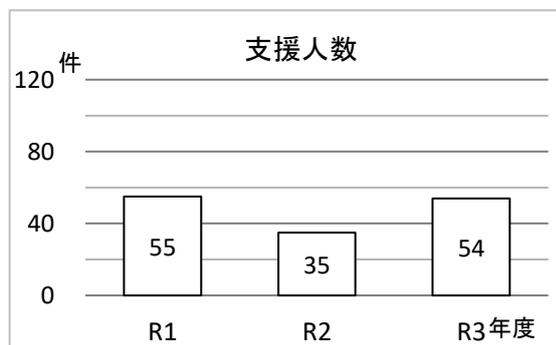
相談支援の中核機関として、年間590人超の相談者に支援を行いました。多機関との協働で、複合的な課題を抱えた生活困窮者に対して、伴走型支援を継続的に行い、自立の向上を図ることができました。



#### (6) 緊急食料等支援事業

緊急かつ一時的に生活に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなる世帯に相談支援、食料や日用品等を支給しました。

柔軟かつ迅速な対応に努め、ほとんどの利用者に対して即日支援を実施しました。社協だよりを活用して、ネットワーク拡充のため、フードドライブの広報も行いました。



#### (7) 新居浜を明るくする運動推進事業

犯罪や非行のない安全・安心な地域社会づくりを目的として、保護司会、更生保護女性会等関係機関と連携しました。

コロナ禍により、「新居浜を明るくする運動大会」の開催を中止しました。

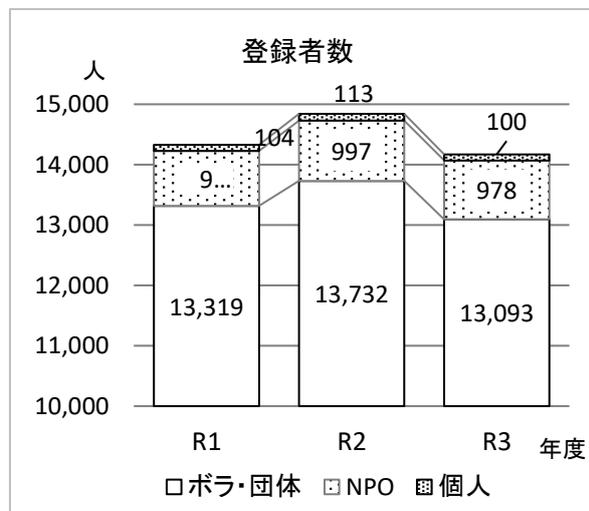
## 6 ボランティア活動の推進

### (1) 福祉ボランティア推進事業

#### ① ボランティア・市民活動センター運営事業

団体及び個人登録し、市民を様々な活動へと繋げ、総合的なボランティア・市民活動推進の場としての役割を担いました。

ボランティア活動情報を整理集約・更新し、コーディネートへ繋げました。ボランティアポイント制度については、市と協議しながら申請・付与等の事務対応を行いました。

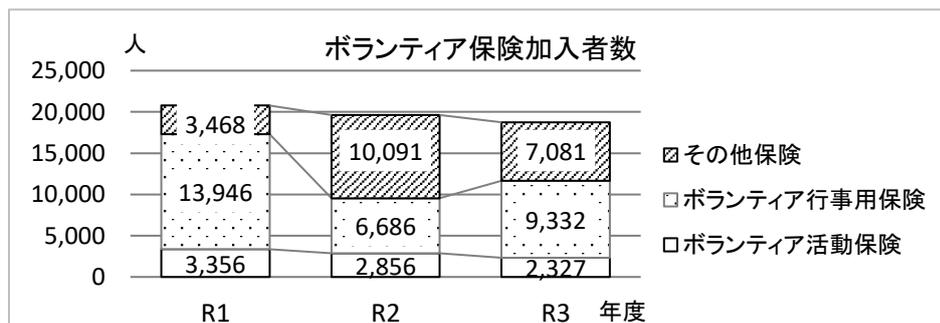
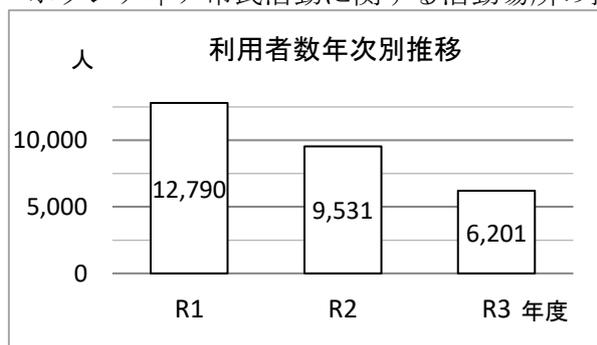


#### ② ボランティア・市民活動に関する相談、援助、指導

ボランティア・市民活動に関する相談に対応し、中間支援を実施しました。

活動情報の更新により、地域での活動状況を踏まえながら、様々なニーズに対し、スムーズな支援を行いました。

- ・ 来所、電話、メール等による相談、援助、指導  
実績件数 297 件
- ・ ボランティア市民活動に関する活動場所の提供



### ③ ボランティア・市民活動に関する情報提供

市民の自発的な社会参加を促し、個人及び、団体の活動が活発になるように必要な情報を収集、提供しました。

タイムリーな情報発信のため、単独ホームページを制作し、市内情報サイトへ掲載も予定しています。高校生等に向けてはLINE等を活用し、情報を提供しました。団体向けにも情報発信のための講座を開催しました。

- ・「ボランティアinいほま」の発行（年12回） 毎月3,900部発行
- ・Twitter（ツイッター）、LINE公式アカウントによる情報発信
- ・市報による情報提供（6回）

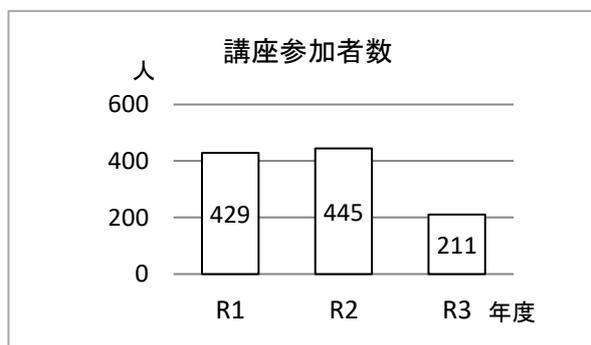
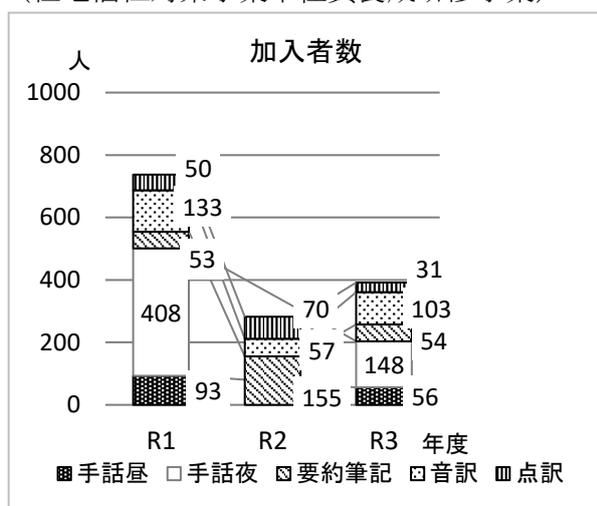
### ④ ボランティア・市民活動に関する研修

技術ボランティア養成講座、各種講座を実施しました。

SNSによる情報発信により、学生を含めた幅広い年齢層の受講がありました。コロナ禍のため、受講者数の増加は見込めませんでした。高校生の希望による傾聴講座の学校開催を支援しました。また、次年度講座の募集に向けて紹介動画を作成し、広報しました。

- ・技術ボランティア養成講座  
（在宅福祉対策事業奉仕員養成研修事業）

- ・ボランティア講座



### ⑤ その他

ボランティア・市民活動に関する福祉活動資材の整備、貸与、連絡調整を行いました。

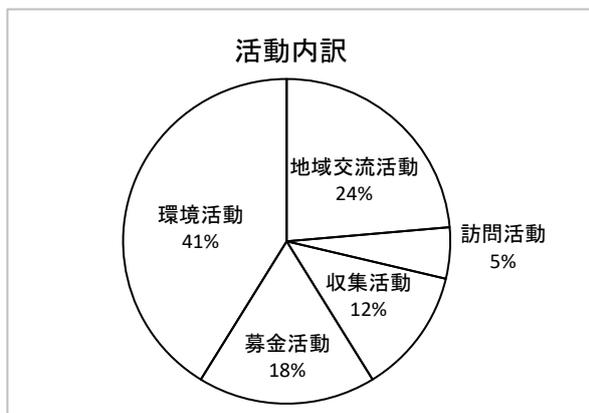
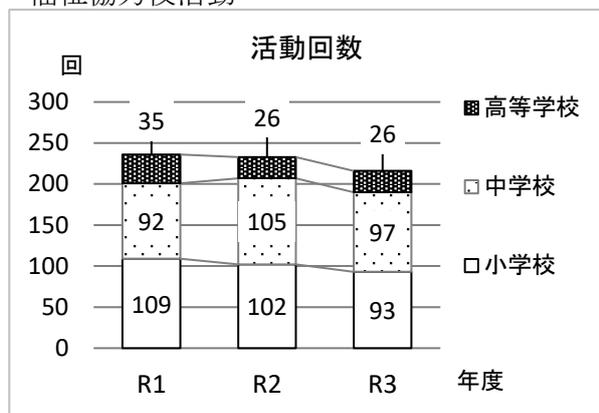
ボランティア登録更新に合わせてニーズ調査を実施し、必要な資材については整備しました。今後も引き続き調査を続け、計画的に対応します。

## (2) 福祉教育、生涯福祉学習

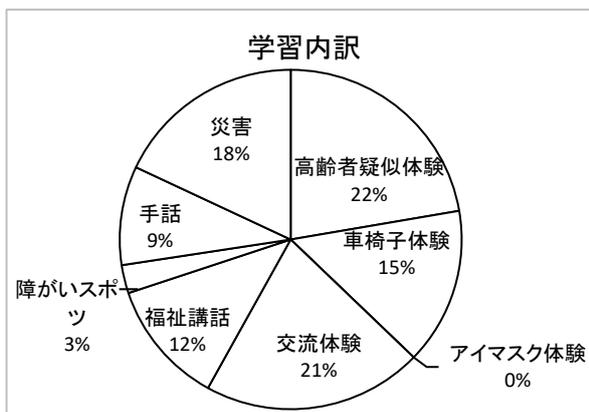
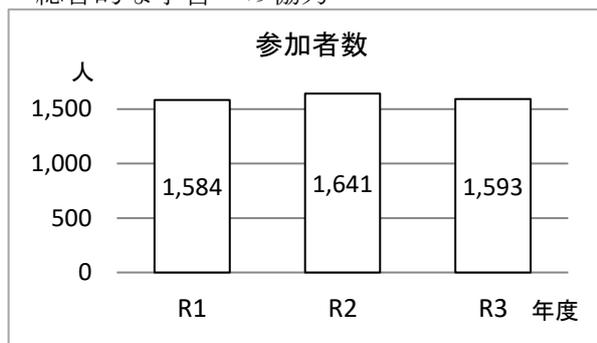
福祉学習の推進及び生涯福祉学習を支援しました。

福祉教育ガイドブックを市内学校に配布し、新たな依頼が数件ありました。未実施の学校にはPRする必要があります。ワークキャンプ中止の代替としては、中高生を対象に福祉の仕事を学ぶ講座を実施しました。また、「ふくしの作品」を募集し、作文・ポスターの作品集を広く配布しました。

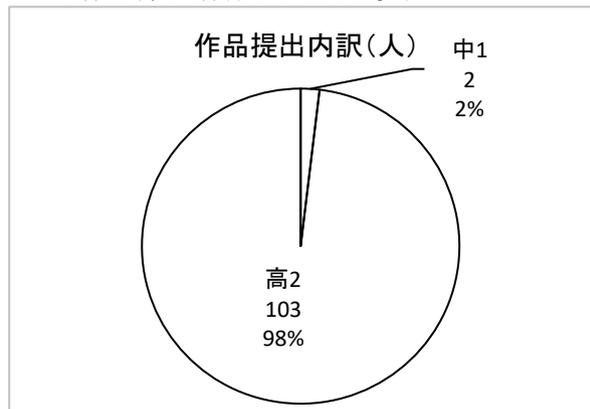
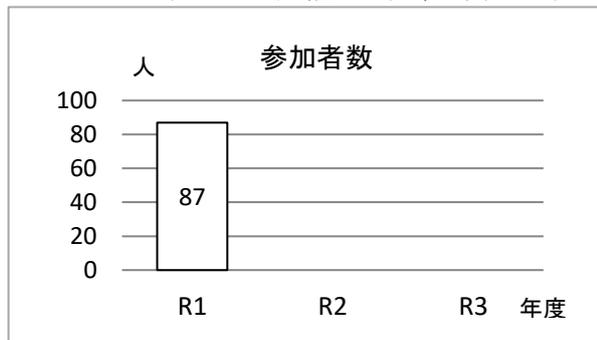
### 福祉協力校活動



### ・総合的な学習への協力



### ・ワークキャンプの開催 (R2, 3年度は中止につき作品集を作成しました。)



### (3) 災害ボランティアセンター設置運営事業

資材管理や災害ボランティアの受付相談、登録、管理を行い、講座を開催。ネットワークを構築し、訓練を実施しました。

今後の協議に向けて、職員向け研修計画案を作成しました。

災害ボランティア登録者 429人 (男 265人、女 164人) 令和4年3月31日現在

## 7 社会福祉協議会の運営の強化

### (1) 理事会・評議員会の運営

地域福祉を推進する団体としての経営責任を担う理事会、議決機関としての評議員会を開催しました。

事業計画、事業報告を実施年度の各事業の特徴を示した様式に変更しました。効果的な会議運営方法については検討中です。

種別	回数	延出席者	内容
理事会	5	74	35議案
評議員会	4	127	9議案
監事監査	1	3	令和2年度事業及び決算について

### (2) 財務運営、管理

財源（民間財源、公費財源、事業収入財源）を確保し、継続・安定的な経営、会計法令に基づく経理事務を実施しました。

法人全体の財務状況を検証し、各事業等の経営課題を明確にしました。

### (3) 人事管理・人財育成

採用・配置、評価、処遇、育成からなる人事管理制度の一体的運営を行いました。

各課の職員構成で5S委員会開催し、事業運営の効率化に取り組みました。70周年記念事業委員会も開催しました。職員の研修状況を調査し、系統的な階層別、専門研修を受講することにより、能力向上を図りました。

### (4) 労務管理

働きやすい環境の整備と労働法制を順守し、衛生委員会、健康診断を実施しました。

職場巡視、健康研修を実施しました。また、健康志向向上の仕組みを考察しました。

### (5) 社協発展・強化、その他計画の策定と進行管理

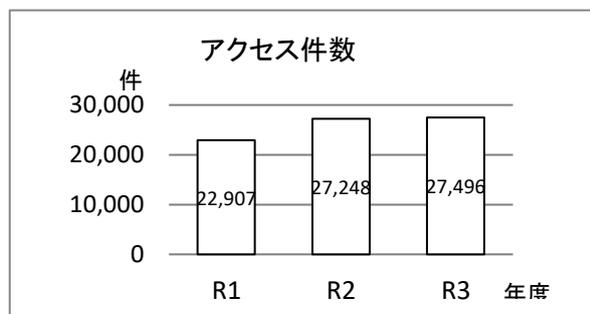
制度、地域生活課題などの外部環境、組織体制、事業推進体制、財務状況などの内部環境をもとに策定し、進行管理を行いました。

目標管理・事業計画が人事評価・事業報告に対応するように、ヒアリングを実施し、PDCAサイクルの進行管理を行いました。

### (6) 広報活動・広報戦略

社協だより・ホームページにより地域福祉活動を広報しました。

ホームページに施設休館のお知らせを随時掲載し、市民に周知するとともに、リニューアルを検討しました。人材確保のための職員紹介や、タウン誌で求人募集を行いました。



「にいほま社協だより」を年6回  
(奇数月、1回あたり約42,000部) 発行

ホームページ運営<http://www.n-syakyo.jp/>